

# 第 29 回 新木地区「地域会議」議事録

- 開催日時： 令和 7 年 6 月 22 日(日) 10:00～12:00
- 開催場所： 新木近隣センター 多目的ホール
- 出席者： (紙面の都合により割愛)
- 議題： 安全・安心・住みよいまちづくりに向けて  
～自然災害に対する情報交換（組立体験）～

## ■開会挨拶

＜地域会議事務局：事務局長＞

参加者への感謝の言葉とともに、今回の地域会議の目的を説明。

避難所での実践的な対応力を高めるため、簡易ベッド・簡易トイレの組立体験を実施し、いざというときの備えとしての重要性を強調。

## ■我孫子市からの報告

地域の協力への感謝とともに、AED 補助金制度についての案内（詳細はチラシにて配布）。

AED の使用体験を通して、災害時の対応力を高めてほしいとの趣旨説明。

## ■議事（全体）

### 1) 簡易ベッド・簡易トイレの組立体験

参加者が実際に組立を体験。

【簡易ベッド】：折りたたまれた状態から広げるだけで設置可能。

【簡易トイレ】：箱状の土台を立体に展開し、テントは四隅を杭で固定。

### 2) 意見交換（体験後ディスカッション）

#### ■体験内容の振り返り

参加者は、実際に避難所設営を想定した備品の使い方や設置手順を体験し、防災意識を高めた。

#### ■主な意見・感想

＜実体験の意義＞

- 体験を通して理解が深まった。自治会内でも共有したい。
- 見たことはあっても実際に使う経験は初めてで有益だった。
- 継続的な機会の必要性を感じた。

#### <備品に関する意見>

- 簡易ベッドの構造は予想よりしっかりしていた。
- 他の備品（折り畳み式トイレ、段ボール製ベッド等）も体験希望。
- 衛生面やプライバシーの確保も重要な議論テーマ。

#### <備蓄・設置場所に関する意見>

- 備蓄倉庫の中身・数量の明示を望む声。
- 備品が最低限である現状を踏まえ、自治会でも備蓄の検討が必要。
- 備蓄倉庫の鍵管理、市の夜間対応体制についての情報共有を希望。

#### <防災訓練への提案>

- 高齢者の避難経路確認の必要性。
- 自治会単位での避難訓練実施と今回のような体験の導入を希望。
- 忘れないためにも定期的な訓練が必要。

#### <制度・運用に関する要望>

- 市の備品数や配備状況の公開を求める声。
- 「災害発生から 48 時間以内にトイレ設置」という国の方針への市の対応状況の確認要望。
- 自助・共助の意識を高める必要性。

#### <その他の意見>

- 体育館へのエアコン設置を望む声あり。
- 創価学会館が避難所として使用可能になった情報の共有。
- 家族や地域で防災について話し合うきっかけとなった。

### 3) まとめ

参加者からは「自治会でも取り組みたい」「継続的な訓練が必要」といった前向きな意見が多く寄せられた。体験を通じて、避難所備品の使用法や備蓄の実情、行政との連携のあり方など、防災活動に向けた多くの課題と気づきが得られた。